

令和5年度
第2回岩手県地域年金事業
運営調整会議

令和6年2月



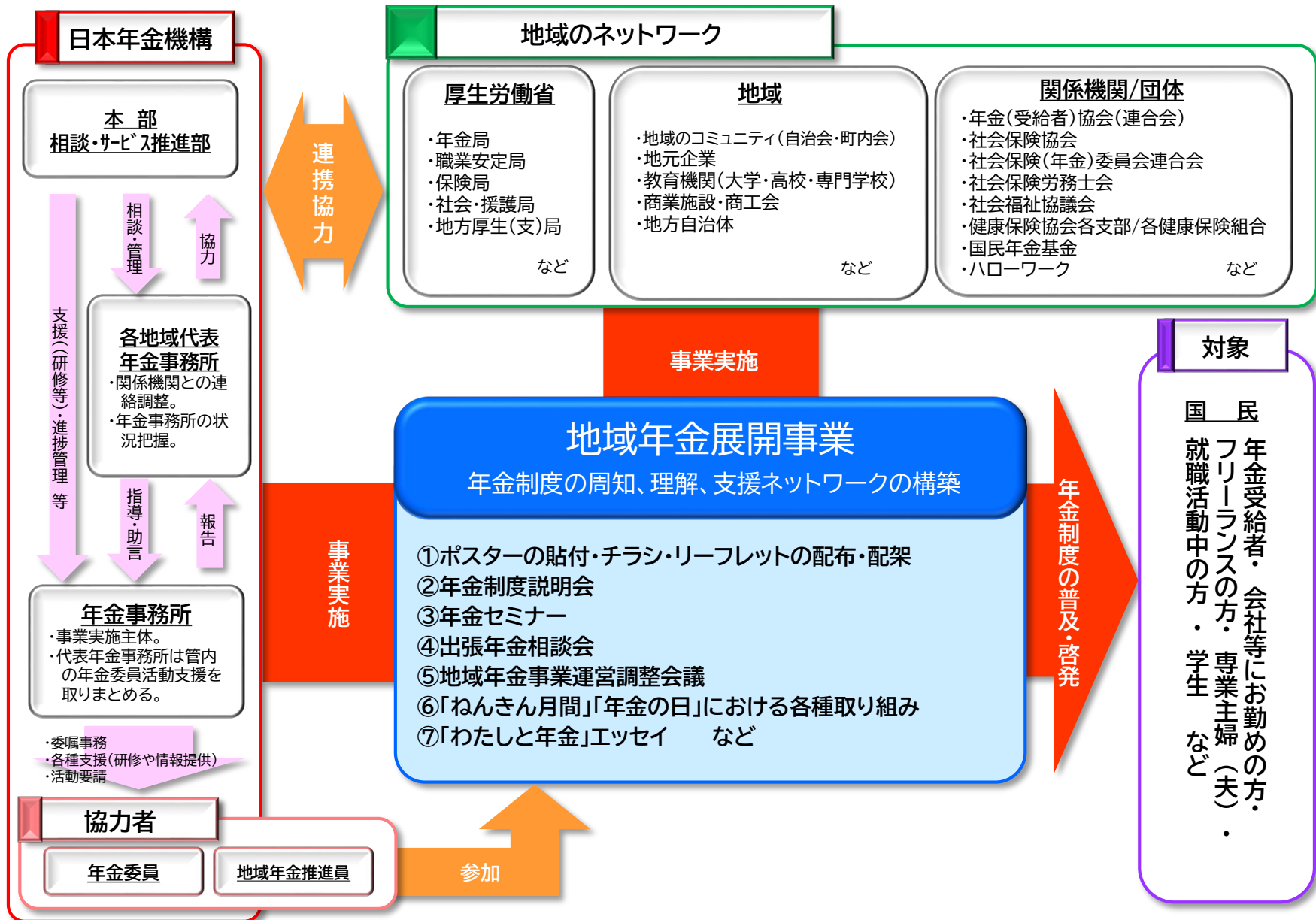
盛岡年金事務所
(岩手県代表年金事務所)

目次

1. 地域年金展開事業の概要	2～4頁
2. 令和5年度事業取り組み状況	5～23頁
○ 地域連携事業	6～8頁
○ 年金セミナー事業（普及・啓発事業）	9～13頁
○ 地域相談事業	14～15頁
○ 年金委員活動支援事業	16～20頁
○ 岩手県地域年金事業運営調整会議	21～22頁
○ 「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み	23頁
3. 令和6年度事業計画（案）	24～27頁
○ 重点項目	25頁
○ 令和6年度岩手県地域年金展開事業計画	26～27頁

1. 地域年金展開事業の概要

1. 地域年金展開事業の概要 (1/2)



1. 地域年金展開事業の概要 (2/2)

地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。
- ◆また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

《本来の取り組み内容》

地域連携事業	<ul style="list-style-type: none">・職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。・市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。
年金セミナー事業 (普及・啓発事業)	職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。
地域相談事業	年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。
年金委員 活動支援事業	年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。
地域年金事業 運営調整会議	公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

2. 令和5年度事業取り組み状況

令和5年度第3四半期まで（令和5年4月～12月）の取り組み状況の明細は「【別添1】事務所別事業取り組み中間状況（第3四半期）」を参照願います。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○地域連携事業

(1) 市町村との連携

- 市町村と連携して、国民年金事業および地域展開事業に関する各種取り組みを実施しました。
- 併せて、管轄の年金事務所長から市町村長等に対して、国民年金事業等に係る事業報告を行うとともに、各種取り組みに関する協力要請を行い、事業の推進を図りました。

項目		取り組み内容	中間総括
地域住民への周知・広報	市町村発行の広報誌における記事掲載	<ul style="list-style-type: none"> 市町村発行の広報誌において、複数回に渡って公的年金制度に関する記事を掲載いただきました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に根ざした市町村と連携し、地域住民に対する周知・広報を実施しました。
	市町村窓口でのリーフレット等の設置	<ul style="list-style-type: none"> ねんきんネット、年金相談予約制、国民年金手続の電子申請、「わたしと年金」エッセイ募集、ねんきん月間等に関するポスター・リーフレットを設置・活用いただきました。 	
市町村向け情報提供	情報誌「かけはし」の発行	<ul style="list-style-type: none"> 奇数月に、市町村に対する情報誌「かけはし」（編集責任者：本部事業推進統括部）を発行し、制度改正内容や障害年金請求事務手続きにかかる留意事項、受給者・被保険者に向けた送付物の内容等の情報提供を行いました。 偶数月には、「かけはし」号外として盛岡年金事務所から、事務処理上の留意点や受給者・被保険者に向けた送付物の内容等の補足的な情報提供を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民と接する市町村に対して、適時に情報提供を行うことで、市町村との連携を強化し、国民年金の適正な届出等を促進しました。
市町村職員向け研修	業務研修	<ul style="list-style-type: none"> 国民年金事務担当者に対する研修会を開催しました。事例など具体的な内容を中心に、対面・集合形式で開催しました。 機構が貸与する端末等の機器操作に関して、事務所職員が市町村へ出向いて、研修を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村職員への事前ヒアリングや開催時のアンケート調査によりニーズを把握した上で、市町村職員の要望に沿った形での研修を実施しました。 対面の機会を活用して、日頃の業務の疑問点の解消に向けた意見交換を行いました。また、市町村職員からの質問等を踏まえつつ、業務や制度の補足説明を行うことで、市町村職員の更なるスキル向上を図りました。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○地域連携事業

(2) 関係機関との連携

- 年金制度や事務手続きの周知・広報を中心に、関係機関と連携した上で各種取り組みを推進しました。

関係機関名	取り組み内容	中間総括
全国健康保険協会岩手支部 <small>(健康保険の保険者として健康保険事業および船員保険事業を実施)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 年金委員等功労者表彰伝達式と研修会を共同開催し、制度改正等について年金委員への周知を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 協会と連携し年金委員に対する周知を行うことで、公的年金に係る適正な届出等の促進を図りました。 ⇒年金委員関係の詳細は16頁以降参照
岩手県社会保険協会 <small>(健康保険および厚生年金保険の適用を受けている事業主を会員として都道府県に設立。社会保険制度の普及発達に寄与し、被保険者および家族の福利厚生に関する事業を実施。)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 公的年金制度に係る記事の提供を行い、「社会保険いわて」に記事を掲載いただきました。 協会主催の事務担当者説明会、年金制度説明会へ講師を派遣し、事業所担当者に対して年金制度改正等の説明を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 協会と連携し、事業所に対する周知・広報を実施しました。 事業所担当者に対して、年金制度等の説明を行うことで、公的年金に係る適正な届出等を促進しました。
岩手県社会保険労務士会 <small>(社会保険労務士会会員の資質の向上と業務の改善進歩を図るため、会員の指導および連絡に関する業務を実施。)</small>	<ul style="list-style-type: none"> 社労士会との毎月の定例会議の中で、各年金事務所の相談窓口の業務委託状況や課題等について情報共有し、意見交換を行いました。 岩手県社会保険労務士会支部主催の研修会へ講師を派遣し、年金制度説明を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に情報提供や意見交換を行うことで、社労士会との連携を強化しました。 事例を交えながら業務や制度の補足説明を行うことで、年金事務所に配置される窓口社労士の更なるスキル向上を図りました。
岩手県商工会議所連合会 岩手県商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> 「公的年金制度説明会のご案内」、「厚生年金保険・健康保険制度のご案内」のパンフレットの設置や「わたしと年金」エッセイ募集や予約年金相談の周知用ポスター・リーフレットの設置について協力要請を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改正や地域展開事業に係る各種取り組みについて、連合会への情報提供を通じて、事業所に対する周知・広報を図りました。
報道機関	<ul style="list-style-type: none"> 報道機関19社へ「わたしと年金」エッセイ募集、「ねんきん月間」および「年金の日」、「第4回岩手県年金ポスターコンクール」募集等の周知・協力要請を行いました。 コミュニティラジオ・コミュニティFMやケーブルTVにおいては、「予約相談」や「ねんきんネット」等の公的年金についての制度広報を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 制度改正や地域展開事業に係る各種取り組みについて、報道機関への情報提供を通じて、地域住民や一般の方々への周知・広報を図りました。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○地域連携事業

(3) 今後の対応

- 引き続き市町村および関係機関と連携して、地域住民や事業所等に対する周知・広報を推進してまいります。
- 公的年金に係る適正な届出等を促進するために、市町村職員、社労士、事業所担当者等に対する情報提供や研修等の機会を通じて、市町村および関係機関との連携を強化し取り組んでまいります。
- 年金委員や事業所担当者に対する研修の実施に当たっては、市町村および関係機関と連携して研修の質の向上に取り組んでまいります。

市町村向け情報誌かけはし第86号
(令和6年1月12日)

令和5年2月20日利用開始
いつでも! どこでも!
国民年金保険料がスマートフォンアプリで納付できます

国民年金保険料について、令和5年2月20日から現金、口座振替、クレジットカード、Pay-easy等による納付に加え、新たにスマートフォンアプリを使用した電子(キャッシュレス)決済での納付が利用できるようになりました。

【ご利用に必要なもの】
① 納付書
② スマートフォン
③ 決済アプリ

■対決決済アプリ(五十音順)
au PAY d払い pb PayPay 楽天ペイ

■スマホ決済の流れ
①納付書がスマートフォンにダウンロードされる
②納付書にQRコードを読み取る
③決済完了

マイナポータルとの連携で「ねんきんネット」はもっと便利になります!

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォンからご自身の年金情報を手軽に確認できるサービスです。

「ねんきんネット」を使って以下のことができます

- 自身の年金記録の確認
- 将来の年金見込額の試算
- 「ねんきん定期便」や各種通知書の確認
- 持ち主不明の年金記録の検索 など

さらに「マイナポータル」と連携することで以下のこともできます

- 扶養家族等申告書の電子申請
- 社会保険料(国民年金保険料)控除証明書等の電子データの受け取り など

「年金の日」とは
厚生労働省では、「国民一人ひとりに、「ねんきんネット」等を活用しながら、真摯なご対応に思いを馳せさせていただく」として、11月30日(土曜日)を「年金の日」としました。

厚生労働省 日本年金機構
Japan Pension Service

周知・広報用リーフレット

年金相談・お手続きの際はご利用ください。

年金相談の予約

予約するお客様のご都合に合わせて、スムーズに相談できます!

■ インターネット予約なら・・・

夜間・休日にも、相談の予約ができるのね

相談する日の前日にメールでお知らせが届くんだ

▼ご予約はこちらから (翌々期日以降の予約ができます。)

スマートフォン・携帯電話 パソコン

インターネット予約の受付時間
土日祝日も受付あり
8:00～23:30
※SATA(ソフトバンク)限定でのご予約です。

■ お電話で予約する場合 (翌期日以降の予約ができます)

0570-05-4990 (東京) 03-6631-7521
受付時間: 月～金(平日) 8:30～17:15 (土曜、日、祝祭日を除く)

電話予約の受付時間
月～金(平日) 8:30～17:15 (土曜、日、祝祭日を除く)

ご予約の際は、お電話で年金番号がわかるもの(基礎年金番号通知書、年金手帳など)をお手元に準備ください。

日本年金機構
Japan Pension Service

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

(1) 年金セミナー（1/2）

- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢の変化を踏まえつつ、県内の大学、短期大学、専門学校、高等学校等に向いて、学生本人との対面方式による年金セミナーを開催しました。
- ・ 学生の保護者向けの取り組みとして、特別支援学校において障害年金セミナーを開催しました。

○事務所別実施状況 ※（ ）内はオンラインおよびDVD視聴による実施の再掲

事務所名	令和4年度末	令和5年度目標	令和5年12月末実績	達成割合
盛岡	16校（1校）	15校	13校（1校）	87%
一関	10校（2校）	9校	5校（0校）	56%
宮古	5校（0校）	5校	4校（0校）	80%
二戸	5校（2校）	5校	3校（0校）	60%
花巻	15校（0校）	15校	7校（0校）	47%
合計	51校（5校）	49校	32校（1校）	65%



○教育機関別実施内訳 ※（ ）内は参加者数

教育機関	令和4年度末	令和5年12月末実績
大学・短大	4校（456名）	5校（761名）
専門学校	14校（519名）	6校（444名）
高等学校	28校（2,144名）	11校（1,082名）
特別支援学校	5校（124名）	9校（264名）
中学校	0校（0名）	1校（15名）
合計	51校（3,243名）	32校（2,566名）



特別支援学校における保護者向け障害年金セミナーの様子

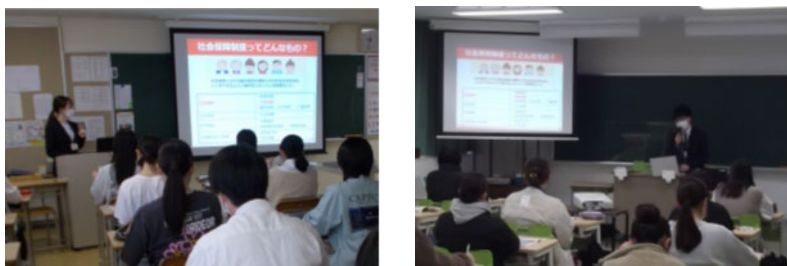
2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

(1) 年金セミナー（2/2）

- 学校への事前ヒアリングや過去のアンケート調査結果（「【別添2】年金セミナーアンケート結果」参照）によりニーズを把握した上で、地域年金推進員（注）と連携して、学校側のご要望に沿った形で実施しました。

事務所職員による年金セミナーの様子（専門学校）



地域年金推進員（注）による年金セミナーの様子（高等学校）

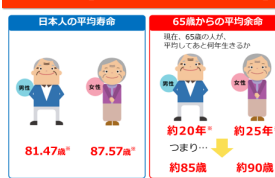


知っておきたい
年金のはなし



厚生労働省 日本年金機構

平均「寿命」と65歳からの平均「余命」

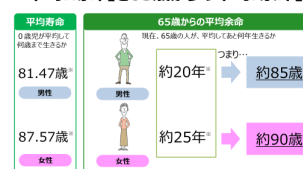


知っておきたい
年金のはなし



日本年金機構
Japan Pension Service

平均「寿命」と65歳からの平均「余命」



人生のイベント
ライフイベント
シミュレーション

「人生」いろいろありますが、まずは、自分の社会人・結婚・引退などの年齢を考えてみよう！（約3分）



16



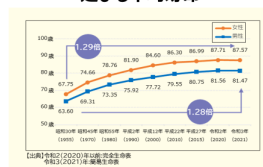
「食費」「家賃」「交遊費」「光熱費」はどれくらいだろうか？（約6分）

①「食費」「家賃」「交遊費」「光熱費」「通信費・交通費」「その他」の合計を記載してください。

②「医療費」「通信費・交通費」「その他」の合計で111,000円あります。

17

延びる平均寿命



11

老後に必要な生活費

標準的な60代夫婦の生活費の1か月の総額
約25万円/月[※]
約25万円×12か月×20年 = 約6,000万円

安定的な収入源として、
老後の「年金」は大切！



※ 平成27年度4人、世帯・高齢者世帯調査

12

職員説明用スライドの一部

地域年金推進員（注）説明用スライドの一部

（注）学校の連絡・調整や生徒へのプレゼンテーション能力に長けた教員OB2名を「地域年金推進員」として委嘱し、主に岩手県内の高等学校を対象とした年金セミナーの講師等の業務に従事しております。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

(2) 岩手県年金ポスターコンクール

- 中学生の段階から公的年金を身近に感じていただくため、厚生労働省東北厚生局、岩手県教育委員会等の7団体に後援をいただき、県内の中学校において年金をテーマとしたポスターを作成、ご応募いただきました。

【募集期間】 令和5年5月8日～令和5年9月29日

【応募資格】 岩手県内の中学生

【応募結果】 応募校19校、応募者数54名

【賞授与実績】 最優秀賞1名、優秀賞3名、年金事務所長賞5名、入選6名

特別賞（厚生労働省東北厚生局長賞）1名 （計16名）

※受賞作品について、盛岡年金事務所より令和5年12月13日付で報道発表しております。
（「【別添3】日本年金機構からの発表」参照）



受賞16作品



最優秀賞・優秀賞表彰式の様子



花巻年金事務所における作品展示の様子

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

(3) 「わたしと年金」エッセイ募集

- 年金制度の意義、公的年金制度と国民の結び付き等について考えていただくため、自身や家族等の身近な方と公的年金制度との関わりについてエッセイを募集し、ご応募いただきました。

【募集期間】 令和5年6月1日～令和5年9月8日

【応募資格】 全国の中中学生以上の方

【応募結果】 応募総数1,609名（うち学生は1,529名）

【賞授与実績】 厚生労働大臣賞1名、日本年金機構理事長賞1名

優秀賞3名、入選5名

（計10名）

※受賞作品について、厚生労働省より令和5年11月30日付で報道発表しております。
（岩手県からは一般の方3名から応募がありましたが受賞者は出ませんでした。）



年金エッセイ募集ポスター



エッセイ・ポスターコンクール入賞作品展示会の様子（イオンモール盛岡、マリオス、クロステラス盛岡）

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金セミナー事業（普及・啓発事業）

(4) 中間総括と今後の対応

項目	中間総括	今後の対応
年金セミナー	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月から6月にかけて、地域年金推進員と連携して、岩手県教育委員会や岩手県高等学校長協会等の関係機関に対して年金セミナー実施に関する協力を依頼しました。また、岩手県高等学校教育研究会地歴・公民部総会において年金セミナーに関するプレゼンテーションを実施し、年金セミナー実施に関する協力を依頼しました。 令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢の変化を踏まえつつ、学校側の要望に応える形で対面・集合方式による年金セミナーを開催しました。 各学校に対して個別にアプローチを実施した結果、44校からの申込があり順次開催しております。また、特別支援学校については、早期にアプローチをした結果9校から申込があり順次開催しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教育機関のご要望等を踏まえ、次年度以降の開催も見据えたアプローチを継続してまいります。また、開催実績の無い学校や未実施の学校に対しても粘り強くアプローチを継続してまいります。 説明に当たっては、学生にとって年金セミナーの受講が有意義な機会となるよう、セミナー後の反応やアンケート結果をもとに説明の仕方を工夫してまいります。 特別支援学校での年金セミナーの開催に関しては、学生の保護者に対する障害年金制度の周知の機会として捉え、今後も継続して取り組んでまいります。
年金ポスターコンクール	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省東北厚生局、岩手県教育委員会等の7団体に後援をいただき、県内の中学生を対象とした「第4回岩手県年金ポスターコンクール」を開催しました。 県内19の中学校（初応募校5校）から54作品の応募がありました。令和4年度と同数の54作品の応募があったこと等を踏まえると、岩手県内の取り組みとして中学校に定着しつつあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降の応募拡大を目指して、「わたしと年金」エッセイ募集や年金セミナー開催のアプローチ等とあわせて、中学校および関係機関を通じて周知・応募依頼を行ってまいります。
「わたしと年金」エッセイ	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年6月に募集に関する報道発表を行い、教育機関への年金セミナーアプローチと併せて周知・応募依頼を行いました。 図書館および公民館の他、主要な商業施設や郵便局、交通機関に対して募集用ポスター・リーフレットの設置・掲示を依頼しました。 一般の方から3名の応募はありましたが、学生からの応募はありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 学生からの応募拡大を目指して、年金セミナーおよび年金ポスターコンクールと併せての各学校を通じた周知・応募依頼に力を入れて取り組んでまいります。 関係機関と連携して、目に触れる場所や施設等の募集用ポスター・リーフレットの設置・掲示に向けて協力依頼先を拡大し、一般の方々に対する周知・広報活動を進めてまいります。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○地域相談事業

(1) 市町村等における出張年金相談

- 年金事務所から距離のある地域に在住するお客様への相談サービスの充実のために、市町村等の年金事務所以外の場所において出張年金相談を実施しております。

事務所名	実績（令和5年12月末現在）		
	実施場所（実施頻度）	実施回数	相談者数
盛岡	八幡平市役所（毎月1回）、岩手町ゆはず交流館（毎月1回）、紫波町役場（奇数月）、葛巻町役場（偶数月）	27回	259名
一関	陸前高田市役所（偶数月）、大船渡市役所（毎月1回）、奥州市役所本庁（奇数月）、奥州市役所江刺総合支所（偶数月）	23回	353名
宮古	釜石市青葉ビル（毎月1回）	9回	171名
二戸	久慈市文化会館（毎月2回）	18回	252名
花巻	遠野市役所（毎月1回）	9回	84名

(2) ハローワークにおける離職者説明会での国民年金説明会

- ハローワークに職員を派遣し、離職者の方々へ国民年金の加入、納付、免除の手続きに関する説明会を実施し、国民年金に係る適正な届出や保険料納付等を促進しました。
- 新型コロナウイルス感染症等の影響で説明会の開催が一時中止されている事務所（盛岡、花巻）においては、引き続きハローワークに対して、離職者の方々への資料配布等に関する協力を依頼しております。

開催年金事務所	実施回数	参加人数
一関（ハローワーク一関）	37回	986名
宮古（ハローワーク宮古・釜石）	37回	679名
二戸（ハローワーク二戸） ※令和5年6月より再開	24回	194名

2. 令和5年度事業取り組み状況

○地域相談事業

(3) 中間総括と今後の対応

項目	中間総括	今後の対応
市町村等における出張年金相談	<ul style="list-style-type: none">市町村等の年金事務所以外の場所において、定期的に出張年金相談を実施しました。市町村発行の広報誌において、出張年金相談の開催に関する記事を掲載いただきました。	<ul style="list-style-type: none">年金事務所から距離のある地域に在住するお客様への相談サービスの充実、地域住民の利便性を確保するため、市町村と連携した上で、引き続き出張年金相談を実施してまいります。
ハローワークにおける離職者説明会での国民年金説明会	<ul style="list-style-type: none">ハローワークに職員を派遣し、離職者の方々へ国民年金の加入、納付、免除の手続きについての説明会を実施しました。新型コロナウイルス感染症等の影響で説明会の開催が一時中止されている事務所においては、ハローワークに対して、離職者の方々への資料配布等に関する協力を依頼しました。	<ul style="list-style-type: none">国民年金手続きや保険料の納め忘れの防止、失業による特例免除制度の周知等を進めるために、ハローワークでの説明会は貴重な機会と考えており、引き続き説明会を実施してまいります。また、事業所閉鎖等による退職予定者説明会への参加は、ハローワークと協力連携を図りながら実施してまいります。新型コロナウイルス感染症等の影響で説明会の開催が一時中止されている事務所においては、国民年金制度説明会が再開できるようハローワークに働きかけてまいります。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(1) 年金委員とは

- 厚生労働大臣からの委嘱を受けて、政府が管掌する厚生年金保険や国民年金の事業について、会社や地域で啓発・相談・助言等の活動を行う民間協力員です。活動する範囲により「職域型」と「地域型」の2つに区分され、前者は主に厚生年金保険に加入している事業所内、後者は主に自治会などの地域において活動しています。
- 年金委員は、厚生年金保険の適用事業所の事業主、被保険者および地域住民等に対して、主に次の活動を行います。
 - ① 日本年金機構が実施する年金制度等に関する説明会および普及啓発活動への協力
 - ② 日本年金機構が発出する各種通知やお知らせ等に関する説明および相談
 - ③ 各種届出手続についての相談および助言並びに適切な届出の励行
 - ④ 日本年金機構が行う年金記録の正確な管理のための事業への協力および支援
 - ⑤ 前各号に掲げるものの他、政府管掌年金事業の推進に必要な活動

(2) 年金委員の委嘱拡大

- 全年金事務所で、職域型年金委員が委嘱されていない被保険者50人以上の事業所を対象に、年金委員制度の周知及び委嘱の推薦依頼を行いました。また、年金委員辞退の際には後任者の推薦依頼を行いました。
- 地域型年金委員については、地域で活動できる年金委員の拡大を目指し、市町村、教育機関を中心に地域型年金委員制度の周知および委嘱の推薦依頼を行いました。

○岩手県年金委員委嘱者数

年金委員	令和4年度末	令和5年度目標	令和5年12月末現在
職域型	2,569名	2,580名	2,555名
地域型	132名	137名	136名

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(3) 年金委員への研修会、連絡会等

- 全国年金委員研修は、県の代表の年金委員が東京に参集して受講する方式に加え、Web会議サービス（Microsoft Teams）または日本年金機構のテレビ会議システムを使用して、自社（自宅）または管轄の年金事務所で受講する方式で実施されました。

	集合型	オンライン視聴型	
日時	令和5年11月6日（月）・7日（火）	令和5年11月6日（月）	
開催場所	本部障害年金センター（東京）	地域型	職域型
		管轄年金事務所	自社または自宅
参加手段	開催場所に参集	テレビ会議システム	Web会議サービス（Microsoft Teams）
実施内容	・厚生労働省年金局による事業説明（iDeCo（個人型確定拠出年金）） ・日本年金機構の事業に関する説明（子育て支援のための制度、オンラインサービスの推進、国民年金制度に係る説明、老齢年金の繰下げ制度） ・年金委員（制度）の現状と取り組み 等		

- 岩手県内各地域において、職域型年金委員および地域型年金委員に対して年金制度に関する研修会や定期連絡会を開催しました。盛岡年金事務所が主催した研修会には、岩手労働局および全国健康保険協会岩手支部からも研修講師を派遣いただきました。



年金委員連絡会および研修会
(令和5年7月4日盛岡アイーナ)



年金委員研修会
(令和5年11月17日一関文化センター)



年金委員研修会【岩手労働局による説明】
(令和6年1月19日盛岡アイーナ)

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(4) 年金委員への情報発信

- 職域型年金委員へは広報誌「スマイル～職域型年金委員便り～」、地域型年金委員に対しては「支えあい～地域型年金委員だより～」を定期的に作成し、年金委員が普及啓発活動を行うために必要な情報を積極的に発信しました。

スマイル
～職域型年金委員便り～
日本年金機構 第3号
発行日：令和5年8月21日

この広報誌の掲載内容に関するご意見・ご質問は、就業指導係 電話：019-623-6211

支えあい
～地域型年金委員だより～
第31号 発行日 令和5年11月10日
日本年金機構 信玄会年金事務所
Japan Pension Service

この広報誌の掲載内容に関するご意見・ご質問は、就業指導係 電話：019-623-6211

ねんきん月間
令和5年度 全国年金委員研修の開催について
ねんきん月間 11月号
ねんきん月間です

ねんきん月間
令和5年度 全国年金委員研修の開催について
ねんきん月間 11月号
ねんきん月間です

職域型年金委員広報誌 スマイル第3号・岩手版 (令和5年8月21日)

地域型年金委員広報誌 支えあい第31号・岩手版 (令和5年11月10日)

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(5) 年金委員功労者表彰の実施

- 多年にわたり年金事業の推進および発展に貢献された年金委員の方々を対象とした年金委員功労者表彰伝達式を、全国健康保険協会岩手支部との共催により開催しました。

【開催日】	令和5年11月21日（火）		
【開催場所】	ホテルメトロポリタン盛岡「NEW WING」		
【表彰対象】	厚生労働大臣表彰	2名	
	日本年金機構理事長表彰	4名	
	日本年金機構理事表彰	8名	



表彰伝達式の様子



式辞を述べる 盛岡年金事務所 佐々木所長



厚生労働大臣表彰伝達の様子（中関美智雄さん、及川絹子さん）



写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○年金委員活動支援事業

(6) 中間総括と今後の対応

項目	中間総括	今後の対応
年金委員の委嘱拡大に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・職域型年金委員の委嘱拡大に向けて、被保険者50人以上の未設置事業所に対して、特に重点的に文書勧奨、電話勧奨を行いました。 ・地域型年金委員の委嘱拡大に向けて、地域で活動できる年金委員の拡大を目指して、市町村、教育機関を中心に地域型年金委員制度の周知および委嘱の推薦依頼を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職域型年金委員のメリットをPRしながら、年金委員未設置事業所へ委嘱勧奨を引き続き取り組んでまいります。また、全国健康保険協会岩手支部と協力・連携した上で委嘱勧奨を行ってまいります。 ・地域型年金委員に関しては、引き続き、市町村、教育機関の他、民生委員、社会福祉協議会等への協力依頼を行ってまいります。
年金委員への研修会、連絡会等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・年金委員研修会や連絡会については、多くの方に参加していただけるよう、開催時間や開催方法（対面式、非対面形式等）を工夫して実施しました。 ・全国年金委員研修では、県内各年金事務所に参集してテレビ会議システムからの参加と、各職場等からオンラインによる非対面形式の参加を並行して行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も対面形式による研修会や連絡会等を開催する他、テレビ会議システムおよびWeb会議ツールを活用したオンラインによる非対面形式でも開催拡充を図ってまいります。 ・年金委員の活動に有意義な情報を効果的に提供するため、研修の実施方法や内容、説明の仕方を工夫してまいります。
年金委員への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に広報誌を作成し、年金委員が普及啓発活動を行うために必要な情報を積極的に発信しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職域型年金委員および地域型年金委員へ年金制度改正等の必要な情報提供を充実させてまいります。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○岩手県地域年金事業運営調整会議

(1) 地域年金事業運営調整会議の開催

- 地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として地域年金事業運営調整会議を開催しました。

令和5年度第1回会議

- 【開催日】 令和5年7月20日（木）
- 【議事内容】 令和4年度岩手県地域年金展開事業取り組み結果
令和5年度事業計画
国民年金保険料の納付状況等



令和5年度第2回会議

- 【開催日】 令和6年2月 書面開催
- 【議事内容】 令和5年度岩手県地域年金展開事業の中間報告
令和6年度岩手県地域年金展開事業の計画（案）



第1回会議の様子

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

2. 令和5年度事業取り組み状況

○岩手県地域年金事業運営調整会議

(2) 第1回会議でいただいたご意見への対応状況

項目	ご意見	対応状況
地域連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や研修会全体がWeb等での開催が多くなったが、「質問しにくい」、「インターネットが苦手」などから対面を希望する意見があった。Webと対面のハイブリット開催を検討してはどうか。 ・都市年金協議会の研究会があり、コロナ前は年金事務所からの講演の時間があったが、コロナ後はWebや書面開催となり講演が無くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内各地域にて開催した研修は、対面で実施しました。対面のメリットを生かして、日頃の業務の疑問点の解消に向けた意見交換等を行いました。 ・本部が主催する全国年金委員研修は、「集合型」と「オンライン視聴型」のハイブリットで開催されました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・年金保険と健康保険、労働保険をミックスした研修会の実施に係る意見もあったので、検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡年金事務所が主催した職域型年金委員に対する研修会において、岩手県労働局および全国健康保険協会岩手支部からも研修講師を派遣いただきました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の中にはデジタルに対応することが難しい方も多く、窓口で説明を求められることから、そのような状況を踏まえた説明会や研修会を検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、関係機関、年金委員とも連携した上で、実施について検討してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・厚労省年金局広報企画室では「令和5年度は年金関連情報の内容を充実させ、若年層向け動画などに取り組む。」としている。これまでの会議でも「若者は、紙よりSNSなどが有効」と言われているため、厚労省の資料の活用やSNSなどの広報活動を強化するよう厚労省に働きかけるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記ご意見につきましては、本部担当部に報告いたしました。
年金セミナー事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果で、「破綻する」や「もらえない」との意見があるため、丁寧な説明をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き丁寧に説明してまいります。また、セミナー後の反応やアンケート結果をもとに研修の実施方法や内容、説明の仕方を工夫してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高校には主権、租税、消費者教育など多くの要請がある。それぞれ行うことは難しく、併せて行うことができれば取り入れやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの学校で1授業につき50分間の制約があることから、学校側のご意見ご要望を踏まえて検討してまいります。
年金委員活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の表彰式が毎年あるが、事業所を対象にした表彰があってもいいのではないかと。委員も活動しやすくなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記ご意見につきましては、本部担当部に報告いたしました。
	<ul style="list-style-type: none"> ・年金協会の会議や研修に事務所職員に来ていただき、挨拶や説明をいただいているが、年金委員の活動を明確に説明できるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の方それぞれが所属する地域、事業所、団体、サークルにより活動範囲が異なるため、それぞれの活動を一律にお示しすることは困難ですが、それぞれの地域や事業所等において、年金制度改正に関する周知、電子申請や「ねんきんネット」の利用促進等の活動をお願いしております。

○「ねんきん月間」「年金の日」の取り組み

厚生労働省との連携により、11月の「ねんきん月間」において、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しました。

また、11月30日(いいみらい)の「年金の日」には、公的年金制度を身近に感じ理解を深めていただくことを目的とした取り組みを、関係各機関のご協力をいただきながら実施しました。



年金委員研修会【年金事務所・協会けんぽ共同開催】
(令和5年11月21日ホテルメトロポリタン盛岡)

「ねんきん月間」の主な取り組み

年金委員功労者表彰伝達式の実施（全年金事務所）

全国年金委員研修の開催（全年金事務所）

市町村役場等における出張年金相談の開催（全年金事務所）

岩手県年金ポスターコンクール応募作品の展示（全年金事務所）

関係機関における年金制度説明会等への参加（一関）

教育機関における年金セミナーの開催（盛岡・一関・宮古・花巻）

年金委員研修会の開催（盛岡・一関・宮古）

市町村広報誌、コミュニティFM、ケーブルテレビを活用した年金制度の周知広報（盛岡・宮古・二戸）

3. 令和6年度事業計画（案）

3. 令和6年度事業計画（案）

○重点項目

テーマ	概要
地域や各団体等における年金制度説明会開催の拡充	<p>(継続取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">各関係機関（団体）および市町村等と協力・連携を図りながら、地域や事業所等における年金制度説明会の開催および講師派遣を積極的に実施してまいります。 <p>(強化取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">年金制度説明会の開催に向けた事業所への周知、広報等を積極的に行ってまいります。「ねんきんネット」および「電子申請」利用者拡大に向けた各事務所内および外部へのPR活動の積極的な展開を図ってまいります。
教育関係機関とのネットワークの強化による年金セミナー開催の拡充	<p>(継続取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">県教育委員会や高等学校長協会等と協力・連携を図りながら、各高等学校でのセミナー開催について昨年度を上回るよう、アプローチを積極的に実施してまいります。また、セミナー開催が低調な地域への地域年金推進員を活用したアプローチを引き続き展開してまいります。 <p>(強化取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">年金セミナーの開催、未実施大学・専門学校へのアプローチ強化、年金ポスターコンクールとのPRと併せた中学校へのアプローチを行い、開催拡大につなげてまいります。
年金委員の委嘱拡大および活動支援の強化	<p>(継続取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">各関係団体との協力・連携および全年金事務所における複数回の文書勧奨により委嘱拡大を図るとともに、積極的な各種研修会の開催、情報提供により年金委員の活動支援の強化に努めてまいります。 <p>(強化取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none">年金委員が活動しやすい環境を整えると共に、年金委員制度および活動内容の周知による委嘱拡大を図るべく、関係機関との連携強化に向けた取り組みを積極的に進めてまいります。

3. 令和6年度事業計画（案）

（1）地域連携事業

（継続取り組み）

自治体、社会保険労務士会等、関係機関（団体）等と連携した年金制度の周知・啓発の実施

① 自治体との連携

- ・市町村の広報誌や行事等を通じた年金制度の周知
- ・市町村向け広報誌「かけはし」の発行（奇数月）
- ・市町村の国民年金担当職員に対する研修・打合せ会等の充実

② 岩手県社会保険労務士会との連携

- ・社会保険労務士会との定期的な打合せの実施（毎月）
- ・街角の年金相談センター盛岡（オフィス）との定例会議の実施（年6回）
- ・社会保険労務士会主催の会員を対象とした研修会等への講師派遣

③ 全国健康保険協会岩手支部との連携

- ・年金委員委嘱拡大に向けた連携した取り組みの実施
- ・年金委員研修の共同開催
- ・ポスターの掲示およびリーフレットの設置依頼

④ 岩手県社会保険協会、岩手県年金協会との連携

- ・岩手県社会保険協会主催による研修会等への講師派遣
- ・年金委員制度の周知、委嘱への協力依頼

⑤ 岩手県商工会議所連合会および岩手県商工会連合会との連携

- ・ポスターの掲示およびリーフレットの設置依頼
- ・会員を対象とした研修会等への講師派遣
- ・会報誌への記事掲載

⑥ 報道機関等との連携

- ・各地域のケーブルテレビやFM局等との連携を図り、地域住民への公的年金制度の周知

（強化取り組み）

- ・年金制度説明会の開催および企業へのアプローチ
- ・関係機関との協力連携による研修会等実施の拡大

（2）年金セミナー事業

（継続取り組み）

岩手県教育委員会や高等学校長協会等の協力を得て、高等学校や中学校および大学・専門学校等での年金セミナーを実施するほか、出張相談会の実施により、年金制度の内容や重要性について学生・生徒・その保護者に周知

① 高校生・中学生への年金制度の周知

- ・岩手県教育委員会、高等学校長協会、各学校等の協力を得ての年金セミナー実施
- ・教育関係者による社会保障制度の周知・啓発を行うネットワーク作り
- ・地域年金推進員による効果的な年金セミナーの実施

② 大学・専門学校生への年金制度の周知と学生納付特例等の届出勧奨

- ・各学校の協力を得て、年金セミナーの実施
- ・学生納付特例にかかる各学校構内でのポスター掲示、パンフレットの配布
- ・各学校構内における学生納付特例等相談会の開催

③ 地域年金推進員制度

- ・訪問や電話でのアプローチ、反応があった学校へ出向き、実施に向けた打ち合わせ
- ・学校側からのオーダーも踏まえ、年金セミナー資料の修正・追加のアドバイス
- ・学校で年金セミナーを実施
- ・集計したアンケート結果を確認し、学校へフィードバックするとともに、講師自身の振り返りによる説明力・研修の質の向上

④ 「わたしと年金」エッセイ募集

- ・一般、学生（中学生以上）を対象にエッセイを募集
- ・各教育機関、自治体、報道機関等の関係団体への募集にかかる協力依頼
- ・年金セミナー開催、年金ポスターコンクール募集と連動した効果的な協力依頼
- ・図書施設、主要公民館、コミュニティセンター等へのポスター掲示依頼

（強化取り組み）

- ・未開催校へのアプローチ
- ・中学校に対しては、年金セミナー開催、エッセイ・ポスター募集を組み合わせて、効率的かつ効果的にアプローチを実施
- ・「わたしと年金」エッセイ募集にかかる周知協力機関の拡大
- ・特別支援学校に対する年金セミナー開催に向けたアプローチ

3. 令和6年度事業計画（案）

（3）地域相談事業

（継続取り組み）

市町村、公共施設、商業施設等での出張年金相談の実施およびハローワークとの連携による国民年金手続き等の周知

① 年金相談の充実

- ・遠隔地の市町村等の協力を得て出張相談会を実施
- ・関係機関（団体）等からの要請による出張相談の実施
- ・商業施設等を利用した出張相談の実施
- ・社会保険労務士会への委託による年金相談の充実

② ハローワークにおける国民年金手続き等の周知

- ・雇用保険受給者説明会等における講師派遣またはDVD放映
- ・離職後の国民年金手続き等パンフレットの設置

（4）年金委員活動支援事業

（継続取り組み）

職域型年金委員、地域型年金委員の協力による厚生年金被保険者や地域住民等へのチラシ配布など公的年金制度の啓発・普及の取り組みの支援

① 年金委員への支援および情報提供等

- ・年金委員を対象とした研修会の開催と内容の充実
- ・年金委員への積極的な情報提供
- ・職域型年金委員向け広報誌（スマイル～職域型年金委員便り～）の発行（年2回）
- ・地域型年金委員向け広報誌（支えあい～地域型年金委員だより～）の発行（年4回）
- ・地域型年金委員連絡会の定期的な開催

② 全国健康保険協会岩手支部との連携

- ・全国健康保険協会岩手支部との連携を強化し、医療・年金一体となった制度周知

③ 岩手県社会保険委員会連合会、岩手県社会保険協会および岩手県年金協会との連携

- ・岩手県社会保険委員会連合会および岩手県社会保険協会と連携し、職域型年金委員を対象とした研修会・説明会の実施
- ・岩手県年金協会と連携し、地域型年金委員を対象とした研修会・説明会の実施

④ 年金委員表彰伝達式の開催

- ・岩手県社会保険委員会連合会、全国健康保険協会岩手支部、岩手県社会保険協会との共催による年金委員表彰伝達式の実施

⑤ 年金委員の委嘱拡大

- ・職域型年金委員設置事業所および未設置事業所への文書または電話による推薦依頼の実施
- ・岩手県年金協会、岩手県社会保険労務士会および市町村への地域型年金委員の推薦依頼の実施

（強化取り組み）

- ・年金委員活動の活性化および委嘱拡大に向けた関係機関との協議・協力依頼の推進

（5）岩手県地域年金事業運営調整会議

（継続取り組み）

地域に密着した公的年金制度の周知方法や納付率向上等について意見を交わし、事業の推進につなげることを目的として、有識者や関係機関・団体の民間委員から構成される岩手県地域年金事業運営調整会議を設置

① 岩手県地域年金事業運営調整会議の開催

- ・令和5年度事業実績報告等（令和6年7月開催予定）
- ・令和6年度第3四半期事業実績報告および令和7年度事業計画案（令和7年2月に書面にて協議予定）